ときわぎ国領保育園

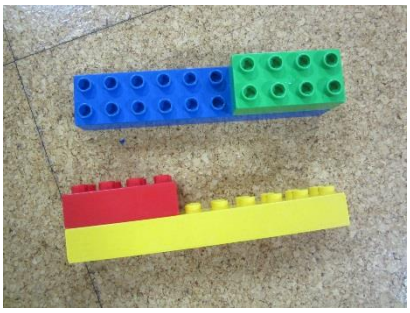
# 保育日記★

３月号

平成 27 年５月より、ページをリニューアルした「保育日記★」！毎月更新しています。
保育中に出会った子ども達の素敵な姿や、楽しいエピソードなどをお伝えしていきます。

## 歯みがき遊び☆

2016.2　ひよこ組　０歳児クラス



こんな風に歯ブラシを作っています☆

ブロックを作っているときは、集中しています。
これは何を作っているのかな??
完成後「ブーン」という効果音で宙に浮かせていました。

ひよこ組の部屋にあるレゴブロックはみんな大好きです。１歳のお誕生日を迎えたころから、おもちゃの中にブロックが登場し始めます。最初はブロックを重ねるのも難しかったのですが、最近ではブロックを重ね合わせるだけでなく、電車や車・飛行機に見立てて作っては「ブーン！」「ブーブー」と遊んでいます。

そんな中、長いブロックを歯ブラシに見立てて歯磨きの真似をして遊ぶＳちゃん。「やって～」と仰向けになって寝ころび“仕上げみがき”の真似っこもしています。保育者が仕上げみがきをしてあげると「きれーね、ピカピカ」とニッコリ☺

それをみていたＭちゃんとＭちゃんも“私も～”と長いブロックを手に保育者のそばで待っていました。Ｓちゃんが「どーぞ」というと嬉しそうにＭちゃんが横になり順々に仕上げみがきが始まりました♫

日々成長を見せてくれるひよこ組さんは、今ではさまざまな見立て遊びが出来るようになっています。家庭での日々の出来事が、このような遊びにつながって楽しんでいます。

記事：眞々田

子どもの遊びの中には大人が思いつかないような発想が出てきて驚くことが度々あります。そして遊びの中にお家での姿や習慣が垣間見えることもあります。Ｓちゃんの遊びもその一つですね。Ｓちゃんはお家でお母さんやお父さんにこうして歯磨きをしてもらい、それを遊びにして楽しんでいます。お家での様子が垣間見える、微笑ましいエピソードです。

# お手玉遊び

2016.3.3　ぞう緑・青組　4・5 歳児クラス

♪あんたがた　どこさ
　肥後さ　肥後どこさ
　熊本さ　熊本どこさ
　船場さ　船場山には狸がおってさ
　それを　猟師が鉄砲でうってさ
　煮てさ　焼いてさ　食ってさ
　それを　木の葉で　ちょいと　被せ♫

自分の頭にお手玉を乗せるのは、ちょっと難しい…

ときわぎ国領保育園は、同じ建物に、特別養護老人ホームと高齢者デイサービスセンターがあり、多くの利用者の方がいらっしゃいます。保育園の園児たちは、季節の行事を通して交流をしたり、お散歩の帰りにフッと立ち寄ってご挨拶したりなど日頃も交流しています。

今回は、お手玉ボランティアさんと一緒に、高齢者デイサービスセンターのおじいちゃん・おばあちゃんと交流した時のことを、ご報告します！

12 月と 1 月にお手玉ボランティアさんが保育園に来て、歌や遊び方を教えてもらいました。交流の当日、椅子に座っているおじいちゃん、おばあちゃんの前にお手玉を持って 1 人ずつ向かい合い、♪あんたがたどこさ♫の唄に合わせて遊びます。

遊び方はこんな様子です★
♪あんたがた　どこさ　肥後さ　肥後どこさ♫
この歌の“さ”の場所で自分が持っているお手玉を、向かい合った相手方の手の上に乗せあいます。“さ”がたくさん出てくる歌詞のところでは忙しくなります！

最後の♪それを木の葉で　ちょいと被せ♫でお手玉を頭の上に乗せます。お互い頭の上にお手玉が乗ったら、1 人がお辞儀をして、向かい合った相手が落ちてくるお手玉をキャッチ！キャッチできたら、反対の人もお辞儀をして、キャッチしてもらいます。

最後はちょっと難しいので、
「できたー」「おしかった！もう 1 回」と声が上がって、繰り返し遊んでいました。上手く頭にお手玉が乗せられない子は、おじいちゃん、おばあちゃんが優しく乗せてくれる姿もありました。

最近の子ども達は、お手玉で遊ぶことが少ないので、貴重な体験となったようです。伝承遊びの面白さを感じる良い機会でした。高齢者の方もお手玉遊びを懐かしく感じられたり、子どもと一緒に遊びを楽しんでいただけたのではないでしょうか。嬉しそうな笑顔が多くみられました。

記事：樽味

特別養護老人ホームと高齢者デイサービスの利用者と保育園の交流は日々あります。保育園の子ども達がわらべ歌を歌う姿を見てもらっていると「知っているわよ。」と一緒に歌って下さったりします。昔から受け継がれている歌は共通で子ども達にも楽しむことが出来ます。お手玉交流もそんな交流の一つです。一対一で行うことで更に交流が深まりました。

# ドミノ倒し

2016.3　ぞう緑組　４歳児クラス

この写真はまた別の時のですが、丁寧に丁寧にドミノを並べていっています。だんだん大作になっていきます。

保育日記★9 月号で、５歳児がドミノ倒しを楽しんでいるエピソードをお伝えしましたが、今回は４歳児クラスの子ども達です。

ときわぎ国領保育園は、３・４・５歳児が一緒のクラスで過ごしています。
５歳児クラス・青組のHちゃんと職員がドミノ遊びをしていた時のことです。Hちゃんはドミノを階段状にしてみたり、積み木でトンネルを作ったりと工夫していました。

少し離れたところで、４歳児クラス・緑組のRくんとRちゃんもドミノを作っていました。ドミノの階段やトンネルを見て、
「あおぐみさん、やっぱすごいな～！じょうず！」とうらやましそうに、しばらく良いな～良いな～と繰り返し言い眺めていました。

RくんとRちゃんのドミノは、何度も途中で倒れてしまっていて、あきらめかけた様子でもありました。するとRちゃん『ねぇもう一回つくろうよ！』と提案。再び作り出したRくんとRちゃん。「ゆっくりだよ。あおぐみさんみたいに」と言いながら…

しばらくHちゃんのドミノ作りを見て、自分たちがいつも慌ててドミノを並べていたことに気が付いたようでした。どうやったらうまく行くのかを伝え合っていました。

最後は見事、長いドミノを完成！
ときわぎ国領保育園ではもうお馴染みの掛け声、
『ぴたごら、はじまるよーー！』と嬉しそうな声が響き渡りました！

（ＮＨＫの番組ピタゴラスイッチを真似たネーミングです）

保育日記★９月号「自由遊び　ピタゴラスイッチ♫」もご覧ください。

記事：佐藤

日々の保育園での生活や遊びの中でも、年下の子は年上のお兄さん・お姉さんの姿を見て「すごいな～」「かっこいいな」と憧れを持ったり、年上の子は年下の子に対しての優しさや思いやりなどを大切にする機会が多く、異年齢保育ならではの良いところです。